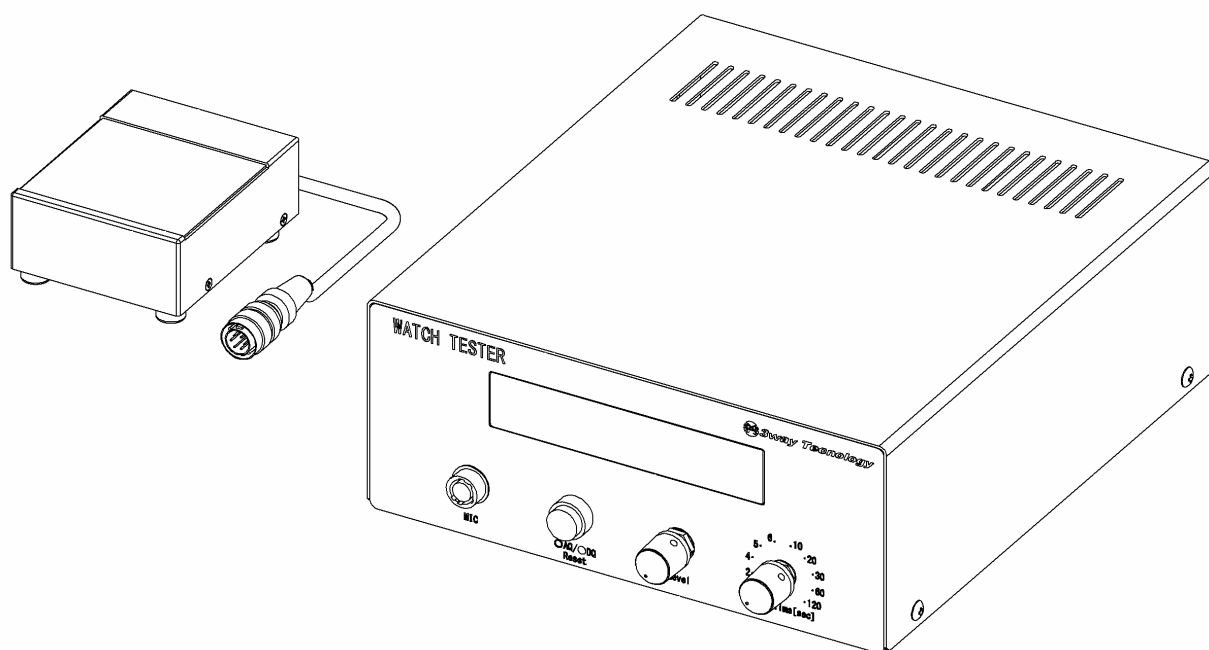
ウォッチテスター

型名

WT-001E

取扱説明書

第１版　2015年８月

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用の前に「使用上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

改訂履歴

改訂履歴				
版数	改定日	改定内容	確認	備考
1.0	2015.8	制定		

使用上の注意

- 本製品が自然災害の外部要因、お客様の故意または過失、誤用によって故障した場合は、保証期間内であっても当社は一切責任を負いません。
- 本製品（ソフトウェアを含む）は外国為替及び外国貿易法の規定により規制貨物及び役務に該当します。従って、本製品を日本国外へ持ち出す際には、同法に基づき日本国政府の輸出許可が必要です。なお、輸出等（国外への持ち出し、非居住者への提供）をされる場合には事前に弊社までお問い合わせください。
- 本製品を廃棄するときは、廃棄物処理法に基づく制度に従い、適正な廃棄をお願いします。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載･無断複写することを禁止します。
- 本書の内容および製品の仕様は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書および製品については万全を期しておりますが、ご不明な点やお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

安全上のご注意

誤った使い方をしたときに生じる危害や程度の区分です。

	警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容です。
	注意	人が傷害を負うことや、物的損害の発生するおそれがある内容です。

お守りいただく内容の図記号です。

	禁止	この表示は、してはいけない内容です。
	強制	この表示は、実行しなければならない内容です。

ご使用について

	⚠ 警告	
	分解禁止	本製品の分解や改造、修理を自分でしないでください。 火災・感電の原因になります。
	ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電の原因になります。
	接触禁止	雷が鳴りだしたら、本製品や電源プラグに触らないでください。 感電の原因になります。
	禁止	本製品の内部に金属物を入れたり、燃えやすいもの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。 ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
	禁止	本製品を水につけたり、ぬらさないでください。 液体が入ると、火災・感電・故障の原因になります。
	強制	内部に金属や液体・異物が入った場合、ケース破損、煙や異臭・異音が出た場合、すぐに電源スイッチを切り、弊社にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

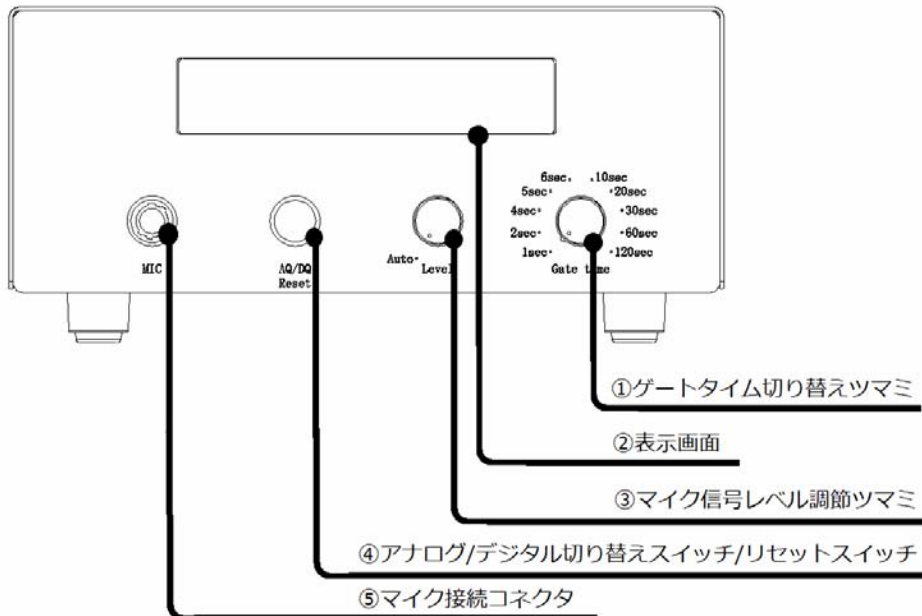
保管・設置場所について

⚠ 警告		
🚫	禁止	不安定な場所や、振動・衝撃の起こる場所に置かないでください。 倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因となることがあります。
🚫	禁止	強い磁界が発生する場所や静電気が発生する場所に置かないでください。 火災・感電・故障の原因となることがあります。

⚠ 注意		
🚫	禁止	直射日光の当たる場所や、発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。 ケースや内部部品の劣化、火災の原因となることがあります。
🚫	禁止	本製品の通風孔を塞がないでください。内部に熱がこもると火災の原因となることがあります。 ・天板の上に物を置かない ・風通しの悪い場所、狭い場所に押し込まない
🚫	禁止	油煙や湯気のあたる場所、ほこりや湿気の多い場所に置かないでください。 火災・感電・故障の原因となることがあります。
❗	強制	本製品は温度 10～35℃、湿度 20～80%RH の結露しない環境でご使用ください。

目次

1　各部の名称と機能

1.1　正面パネル

①　ゲートタイム切り替えツマミ

測定時間の切り替えを行います。

②　表示画面

測定結果および各種設定内容を表示します。

③　マイク信号レベル調節ツマミ

測定器へ取り込んだマイク信号の強さを調節します。

- 左廻しで感度が低く、右廻しで感度が高くなります。左廻しいっぱいは Auto になります。
- 測定する時計の品種により、必要に応じて調節を行ってください。

④　アナログ/デジタル切り替えスイッチ/リセットスイッチ

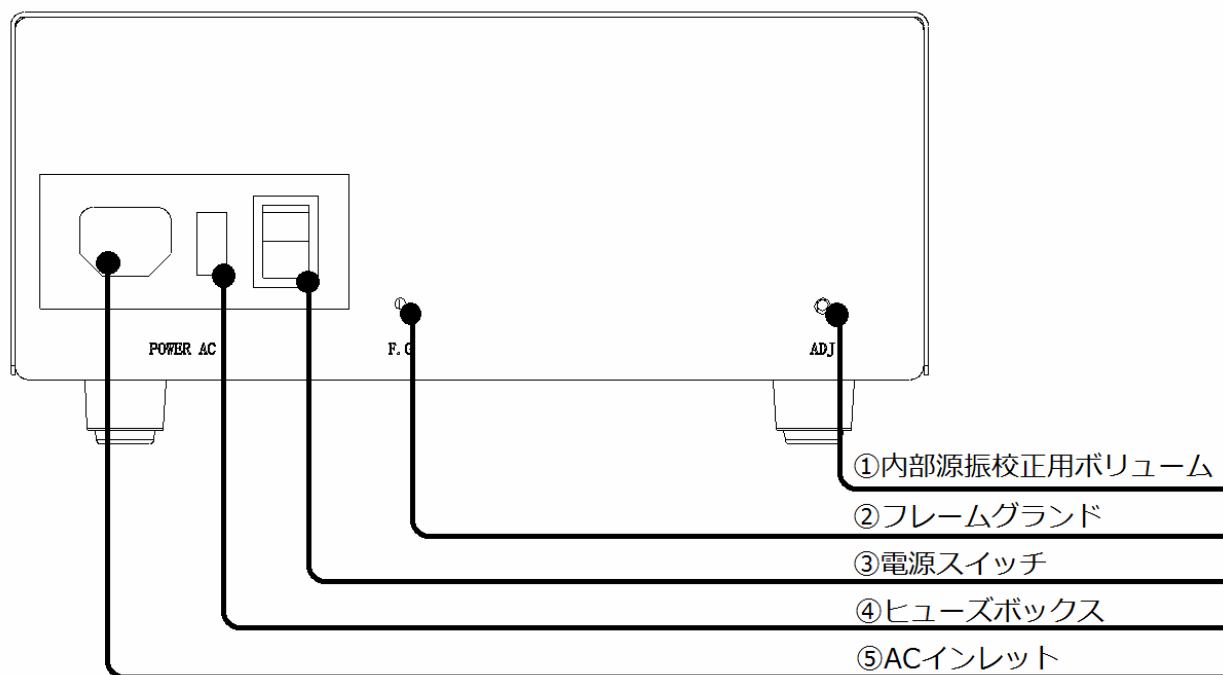
アナログクォーツとデジタルクォーツの、測定モード切り替えを行います。

- デジタルクォーツ測定モード中は、本スイッチに内蔵されている LED が点灯します。
- 電源投入時はアナログクォーツ測定モードで起動します。
- 長押しをすると、測定モードの切り替えを行わずに、測定リセットを行います。

⑤　マイク接続コネクタ

マイクを接続します。

- 誤接続防止機構の付いたコネクタになっており、一回転のうち一箇所でしか接続できないようになっています。

1.2　背面パネル

① 内部源振校正用ボリューム

内部源振を校正する際に調整するボリュームです。

- みだりに変更しないでください。変更した場合の動作は保証できません。

② フレームグランド

フレームグランドです。アースへ接地してください。

③ 電源スイッチ

測定器の電源を入れるためのスイッチです。

④ ヒューズボックス

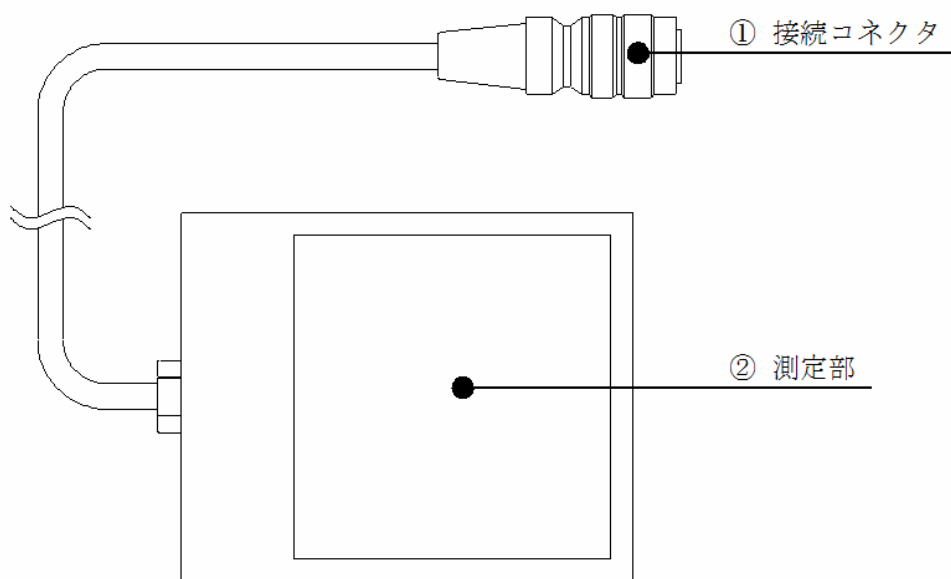
ヒューズを格納します。ヒューズが切れていると電源が入りません。

- ミゼット型（5.2φ×20mm）ガラス管ヒューズ専用です。
- 出荷時は 125V/2A ヒューズをセットしています。AC100V 以外の環境で使用する場合は適切なヒューズへ入れ替えて使用してください。

⑤ AC インレット

AC ケーブルを接続します。

- AC85V～AC264V、50/60Hz で動作します。

1.3　マイク

①　接続コネクタ

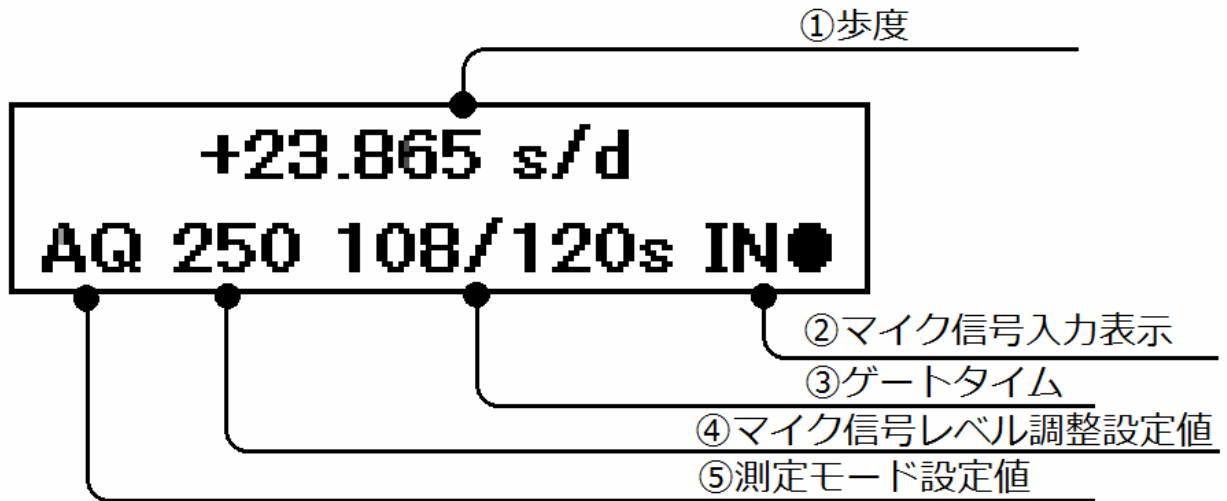
測定器本体のマイク接続コネクタへ接続します。

- 誤接続防止機構の付いたコネクタになっており、一回転のうち一箇所でしか接続できないようになっています。

②　測定部

測定する時計を置く場所です。

- 測定中にマイクを触ったり、時計の位置を動かしたりすると、正しく測定できない場合があります。

1.4　表示内容

① 歩度

歩度測定結果を表示します。

- 小数点以下 3 桁表示で、単位は[Sec / Day]です。
- 測定が完了するまでは、前の結果を保持して表示します。

② マイク信号入力表示

マイク信号入力の有無を表示します。

- マイク信号を検出したときに、黒丸を一定時間表示します。信号が無いときは空白を表示します。

③ ゲートタイム

測定時間の設定値および測定残り時間を表示します。

- 「測定残り時間 / 測定時間設定値」の並びです。単位は[Sec]です。

④ マイク信号レベル調整設定値

マイク信号レベル調節ツマミで現在設定されている、設定値を表示します。

⑤ 測定モード設定値

アナログ/デジタル切り替えスイッチで現在設定されている、設定値を表示します。

２　操作手順

2.1　接続の確認

1）　測定器本体とマイクが接続されていることを確認します。

マイクの接続は、必ず本体の電源スイッチが OFF の状態で行ってください。

2.2　電源投入

1）　電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

2）　測定器の AC インレットへ、AC ケーブルを接続します。

3）　電源スイッチを ON にします。

4）　電源が入った状態で 30 分程度時間を置いてから測定を開始してください。

AC ケーブルの接続は、必ず AC ケーブルが無電圧かつ本体の電源スイッチが OFF の状態で行ってください。

2.3　測定

1）　アナログ/デジタル切り替えスイッチを操作して測定モードを設定します。（電源投入時はアナログクォーツ測定モードで起動します）

2）　ゲートタイム切り替えツマミを操作して測定時間を設定します。

3）　マイク信号レベル調節ツマミを操作してレベル調節を設定します。（測定する時計の品種により、必要に応じて調節を行ってください）

4）　マイクの測定部へ、測定する時計を置きます。

5）　マイクから信号を取り込むと、自動的に測定を開始します。測定位置調整前に測定が開始された場合は、リセットスイッチを押すか、一回目の測定値を読み捨ててください。

操作時に無理な力を加えないでください。故障の原因となります。

３　仕様

3.1　一般仕様

外形寸法	幅	200mm
	奥行き	220mm
	高さ	80mm
重量	本体	1.9kg
	マイク	0.3kg
電源	電圧	AC85V～AC264V
	周波数	50/60Hz
	消費電力	20W 以下
内部源振	発振器	OCXO(恒温槽式高精度水晶発振器)
	周波数	10MHz
	周波数温度特性	±10×10^-9 (-20℃～+70℃)

3.2　測定仕様

歩度	測定範囲	-99.999～+99.999(sec/day)
	分解能	0.001 (sec/day)
	測定時間	1,2,4,5,6,10,20,30,60,120(sec)

ウォッチテスター
WT-001E
取扱説明書

株式会社スリーウェイテクノロジ

ホームページ　http://www.3waytec.co.jp/

本社	〒183-0014	東京都府中市是政 5-17-14	TEL:042-365-9229
飯田事業所	〒395-0801	長野県飯田市鼎中平 2292-1	TEL:0265-49-4578